

EKA J. WAHJOEPRAMONO

First neurosurgeon in South East Asia to successfully perform live brain stem surgery

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Asia
- Health
- Leadership
- Society

Dr. Eka J Wahjoepramonoは、東南アジアで最初に脳幹を手術する脳神経外科医です。労働者の命を救うために脳幹手術を成功裡に実施して以来、Eka博士と彼のチームは、死亡の発生なしに、そして最小限の副作用で、50以上の脳幹手術を実行しました。この成果は、タンゲランのカラワチにあるシロアム病院を脳神経外科の専門センターとして承認しただけでなく、インドネシアを脳神経外科の世界地図に載せました。

Dr. Ekaは、経済的に恵まれない患者さんを支援することを目的とした、インドネシア脳財団の創設者でもあります。長年にわたる知恵とは反対に、Eka教授は、インドネシアの脳神経外科手術の成果を国際フォーラムで評価される力とするのに役立つ知識の移転を確信しているため、常に6人のチームで手術を行います。彼は脳幹手術に関する国際的な科学出版物のための記事を書いています。

現在は、シロアム病院の神経科学センターの会長を務めています。また、2006年インドネシア神経外科学会学術年次総会およびアジアオセアニア国際会議の会長エレクトなど、多くの医学会のメンバーでもあります。頭蓋骨手術、2010年から2012年。

彼の最近の役職には、インドネシア脳神経財団の創設者、神経外科医世界アカデミーの会長エレクト、および神経外科医世界アカデミーの創設者も含まれています。彼は現在、Universitas Pelita Harpan (UPH) 医学部の学部長を務めています。